

秘



田中大尉ヨリノ通信

一 独立中隊ノ飛行場移転トイフモノハ却々大仕事デスネ地上勤務員ヨリモ先ニ飛行場ニ到着シ新飛行場ニハ全然宿營設備ナク苦勞シマシタ 爆撃砲撃掠奪デ町ニハ家トイフ家ハナク偶ニアルノハ警備隊が占領シ村落露營ヲヤリマシタ ソレデモ三四日経ツト警備小隊デ寢台ヤ机腰掛ヲ微發シ寫眞班デ風呂ヲ造リ整備班デ便所ヲ急造シソノ他各班協力シテ家ラジイモノヲコシラフテ落着キマシタ 昨日ハ自ラ微發隊長トナリ南京ヘハストーブヲ微發ニ行キオ蔭デ今夜ハ樂デス

二 南京デ小生ノ爆撃命中シタ中華門ヲ見テ來マシタ相當破壊シテハイマシタガ何シロ城門ハ高サ十米幅二十米ノコンクリートデス五千砲ヤ百砲ヂヤ火シタコトモアリマセン 捕虜ヤ敗殘兵ヲ処分シテキル所ヲ見テ來マシタ 下関ノ揚子江ニ突出シテキル棧橋ノ端デ斬殺及ヒ銃殺シテキマシタガ物凄イモノデスアタリハ面血ダラケデ大キナ粗板ニヒツクリシマス下ノ河ニハ又アルノ首ノナ

イ奴首バカリノ奴何百ト浮キツ泥ミツシテキマス、斬ラレル奴ハ泣キ喚ク
モス、アキラメテキルモノ見テキルトカチリ昂奮シマス

三、南京ノ大校場飛行場ニハ陸海混合シテ飛行機が居ルワ、一寸数ヘテモ
百以上デス敵が本氣ニナツテ爆撃シニ來タラ大混乱ヲ生ズル事デセウ
昨日モ一昨日モ爆撃シタデスが被害ナシ十二月三日ニ散々我々ヲナヤ
マシタ南京ヲ地上カラ眺メテ實ニ感慨無量デシタ

四、目標ヲ發見スルト成ルベク早ク爆撃シ度クナル移動目標デアクテモ然リ
之ハ戰場心理ナラン、ヨク偵察シ具合悪カツタラ二回デモ或ハ五回デモ復
行スルヲ要ス

五、發動機ノ信頼性ハ空中勤務者ノ志氣ノ張弛ニ最モ大ナル影響アリ、出發ヲ
見送ル中隊長ノ氣持マコトニ悲壯ナリ、機種改変ハ焦眉ノ急務ナリ

六、上司ニ并スル報告ノ体裁及ビ功績調査ノ關係ニヨリ部下ヲ使用サルハ
命令ノ威嚴ニ疑ヲ生ゼシム、飛行隊ヲ使用スルノ必要ナキトキハアツサリ

整備ニスルヲ要ス此莫上海派遣全陸軍飛行隊ノ痛切ナル意見ナリ

七、通信及補給ノ不備ハ飛行團ニ編成上最モ大ナル問題ナリ中隊ハ南京飛

行場ニ移転スヤシナル命令ヲ果シテ中隊ハ行動シ得ルヤ

八、上海ニ於ケル飛行場、大部ハ滑走路(中約三、四十米)以外ハ使用シ得ス操縦

教育ニハ制限地離着陸(特ニ方向)ノ觀念ヲ少シ変フルヲ要ス 尚飛行團ニ

関スル意見ハ多数アルモ之ハ各中隊長ニ於テ腹ヲクル、程アル者 小生

ハ遠慮致ス但シ決シテ感情的ノモノニ非ルコトヲ附言ス

九、南京及其附近ノ所デハ各家毎及ビ公共ノ防空壕ヲ設ケテ居マス防空演習

モイイガカウイフノモ眞剣ニヤルベキテセウ



爲參考田中大尉通信ノ一節

昭和拾貳年十二月廿壹日
濱松陸軍飛行學校研究部

一 南京ノ高射砲ノ射撃ハトテモ上手テス十二月三日初陣ニ南京空襲ヲ命セ
ラレ勇躍五機編隊ノ長トシテ出動高度三〇〇〇米ニ於テ完全ニ高射砲ノ
射弾ニ包圍セラレマシタ小サイ黒イ煙カバンパント見ル見ル編隊ヲ包
テシマイマシタ、損害双一不時著、無線手重傷、其他ノ飛行機モ大小五
六個所破片ニヤラレマシタ

二 爆撃高度一五〇〇米以下ハ殆ト採用サレスソレ以下ハ高射機關砲小銃彈
ニヨル損害甚大ナリ退却部隊ニ於テモ同様ナリ、地上火器ノ損害ハ決シ
テ七〇〇米以下ジヤナインテス

三 爆撃目標ノ選定ニ苦勞シマス、南京ノ市街ハ各國ノ大公使館カ散在シテ
之ヲ爆撃シチャイケナイ、五六十隻ノ船カ揚子江ニ居タノテ之ヲヤツ付
ケヤウト電鍵ヲ握ソテヨク見ルト白イ外國船カ五ツ六ツ具合ヨク(？)
交ソテキルノテ止メマシタ
又近頃ハ橋梁ヤ格納庫等ハワザト避ケマス何レ此方カ利用スルモノテス
カラネ惜シイテスヨ

四 友軍ト敵ノ識別ハ相變ラス苦勞シマス、經驗ノ結果次ノヤウガ面白イ區別ヲ見出シマシタ飛行機カ上空ニ來テモ平然ト正シク行軍スルモノハ友軍、停止ヲスルカバツト散ルモノハ敵ト判斷シテ大体間違イ有リマセシ然シ最近敵ノ退却ハトテモ巧妙テ目標ニナル様ナ部隊ハ全然有リマセシ「之カ敵ナラナア」ト何度友軍ノ大部隊ヲ見テ嘆イタカ知レマセン

五 友軍ノ戰線ノ有難味カツク味ハヘマス、愈々戰線ヲ通過スルト急ニ緊張シマス從テ命令受領ノ際ノ地上部隊ノ位置ハ全員興味ヲ以テ聞イテ居マス

今日南京空襲第二回ヲ實施シ又高射砲ト高射機關砲（赤イ火カシユーツト見エル）ノ射撃ヲ受ケツツ高度一五〇〇米ヲ以テ悠々（？）四回許リ旋回シツツ城門ヲ爆撃、中華門ニ見事命中シマシタ、痛快テシタ思ハス日章旗ヲ打チ振りマシタ

主要會戰ニ於ケル使用延機數並ニ使用爆彈量

昭和十三年一月卅一日調

計	航空 作 戰	掃 蕩 戰	山 東 作 戰	黃 河 北 岸 掃 蕩 作 戰	宋 哲 元 軍 掃 蕩 作 戰	太 原 攻 略 作 戰	察 哈 爾 及 山 西 方 面 作 戰	河 北 作 戰		北 京 、 天 津 附 近 戰 闘	戰 闘 名 稱	使用延機數	使用 爆 彈 (發)
								第 二 軍 方 面 ノ 戰 闘	第 一 軍 方 面 ノ 戰 闘				
六一九三	四一八	三五三	五一二	二九〇	四四五	一三六一	四二八	七九一	一三〇九	二八六			
燒五二一 〇五〇五 〇〇〇〇五 計夷KKKKK	五一五 〇五 計KK	一〇五一 〇〇五 計KKK	二一五〇 五〇五 〇〇〇五 計KKKK	一〇五一 〇〇五 計KKK	二一五〇 五〇五 〇〇〇五 計KKKK	五二一 〇五〇五 〇〇〇〇五 計KKKK	一〇五一 〇〇五 計KKK	二一五〇 五〇五 〇〇〇五 計KKKK	燒二一 五〇五 〇〇〇五 計夷KKKK	一〇五一 〇〇五 計KKK			
二七四 五三 九八 六 一 二 九 八 〇 二 噸	七三三 三九二 三 七 一 四 二 四 噸	一四七 六一八 四〇四 四 九 三 〇 噸	二一四 二四二 四二二 一 六 七 三 六 三 四 噸	七三三 四八二 一四五 二 四 三 八 噸	二〇二 八九五 八六二 三 七 八 六 七 〇 五 噸	七六一 一三七 五八七 五 一 四 三 九 四 六 噸	二一三 六五七 三六四 三 八 八 二 九 五 噸	三三二 八八二 七三〇 三 一 四 七 六 一 五 噸	六一二 二五〇 九〇九 七 九 三 六 〇 九 二 八 一 五 七 二 噸	一六九 八六八 四四 八 五 五 九 三 〇 噸			

三三三

對航空機戰鬥概見表

昭和十三年三月十一日調


計	襄陽飛行場	汾陽飛行場	西安飛行場	洛陽飛行場	濟寧飛行場	彰德附近空中戰	青城商河飛行場	大谷飛行場	沂口鎮附近空中戰	大名飛行場	保定附近空中戰	太原飛行場	攻擊地點	員數	墜機數	地上飛行機 破壊機數	日次	部隊
二七	一	三	四	二	一	一	一	一	一	三	一	八					十月一日、二日、三日、四日、廿五日、廿七日、廿九日、三十日	飛一、飛五、飛六、飛八、青木部隊
四六	四		二〇	一三		二			二		一	四					十月十六日	飛五、飛八
七三		一一	二二	三						三		三四					十月十五日	飛八
	三月八日	十月廿三日	十一月十三日、三月八日、十二日	十一月十一日、一月三十日	十一月三日	十月廿五日	十月廿二日	十月十六日	十月十五日	十月十二日、十三日、廿三日	十月六日							
	飛六	飛二、飛六、飛八	九 獨三、飛二、飛六、飛九	六、飛二、獨三、飛五、飛六、飛八、獨九、青木部隊		飛二	飛二	飛五、飛八	飛八	飛二	飛二							

手紙

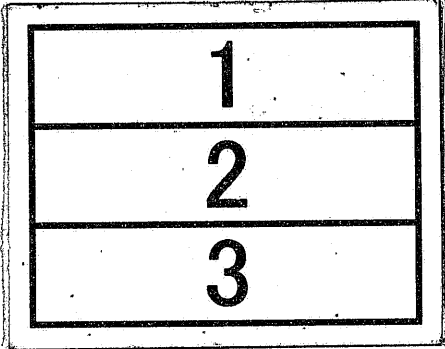
書

1204

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	徳川部隊職員表
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
文書等名	昭和14年7月頃在支航空部隊 整理要領(案)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

